

平成27年10月29日(木) 第2回 総合教育会議 議事録

1. 開 会 (特別理事)

2. 市長あいさつ (司会 市長)

◆宮地市長

教育は次世代を担う子ども達を育む、重要な分野であり、子どもたちが将来の夢に向かって、いきいきと学び育つ教育環境をつくっていく必要があります。前回のこの会議で皆様からいただいた、小・中学校の空調設備についてのご意見は、さっそく全校設置を指示しております。また子どもの貧困問題についても8月下旬に「津山市子どもの貧困対策庁内検討会議」を立ち上げ、対策を検討しているところであります。

教育委員の皆様には、前回に引き続き、広い視点からの、忌憚のないご意見・ご助言をいただき、この総合教育会議が意義あるものとなることを期待しています。

◆宮地市長

それでは、次第にしたがって会議を進めてまいりたいと思いますが、真木委員が、10月1日付で教育委員長に就任されたとお聞きしておりますので、一言ご挨拶をいただきたいと思います。

◆真木委員長

この10月1日から、委員長に就任いたしました真木でございます。重責ある立場に、身の引き締まる思いで一杯です。皆さま方の格別なるご支援、ご指導をいただきながら、津山の子ども達、教育推進のため、誠心誠意、務めさせていただく所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議題

【議題 1】

◆市 長

それでは、さっそくではございますが、議題に入っていきたいと思います。まず、議題(1)「津山市第5次総合計画基本構想及び基本計画(案)について」を、事務局より説明してください。

●小賀室長・河野主幹

それでは、議題(1)「津山市第5次総合計画基本構想及び基本計画(案)について」ご説明申し上げます。(総合計画基本計画案について説明。)

◆市長

ただいまの説明について、協議・調整を行っていきたいと思います。

先ほど、小賀室長からも説明がありましたが、基本構想については、9月市議会で議決されていますので、報告にとどめさせていただきます。いただいたご意見については、今後、審議会にて検討を行っていくこととなります。

皆様からのご意見をいただきたいと思います。

◆真木委員長

地域、家庭など様々な方面から連携して、子ども達をサポートしていく必要があると考えており、教育委員会としては、きちんと成果が表れるように、一生懸命取り組んでいくので、お力添えいただければと思います。

◆市長

教育委員長から率直な御意見をいただきました。その他ご意見がありますでしょうか？

(特になし)

◆市長

皆様方からいただいたご意見については、審議会にて検討していくこととなりますが、もし後から御意見があれば事務局に寄せていただければと思います。

【議題(2)】

◆田村教育長

資料の方を簡単に説明させていただきます。

全国学力学習状況調査の推移を示していますが、今回は国語Aが全国平均を上回っているということになりました。全体としては上昇傾向にあります。ただ、算数・数学はまだ課題が大きく、特に中学校は、国語は県平均に届いていますが、数学は大きな課題となっています。

学力向上については、学力推進プランにより推進しているところですが、学級安心サポート事業など人的な配置や、校内研究指定や35人学級への対応、3.5年生に標準学力検査の導入、教材提示装置の整備していただいています。今年からは、数学の活用力推進プロジェクトをしており、中学から数学の教師が集まり研究を始めました。また、問題データベースの導入、外部講師の招聘などを行うこととなっています。様々な事業を展開していますが、津山市の学力は全体としては上昇傾向にあります。それぞれの学校での問題点もあり、教育委員会としても、学校と連携しながら、子ども達が確かな学力を身につけていくために尽力していきたいと考えています。

◆市 長

資料等にて、現状等の説明を受けましたが、皆様方のご意見を伺いたいと思います。

学力状況調査の結果分析について、私は毎年の順位で一喜一憂するつもりは当然ありませんが、子ども達の基礎学力の定着は、どの程度図られているとみればいいのでしょうか？

◆教 育 長：(事前配付資料2ページのグラフを見ながら説明)

もう一度NRT調査のグラフを見ていただくと、グラフは右肩上がりとなっており、全国との差も縮まってきています。

そして、同じ子どもで見ても、3年生の時と5年生の時を見たときに、確実に偏差値は上がっていますので、各学校での成果が表れていると感じています。

◆市 長

継続は力なり、毎日の積み重ねが大きな力となると思います。それは学力でもスポーツでも一緒に、確認テストでも徐々に結果があらわれていると思います。全体的な底上げと基礎学力の定着が、広く社会に貢献できる人材育成に繋がっていると考えていますので、これからもよろしく願いをいたします。

それから、もう一点。

教育委員会が進められている「授業改善」について、学習状況調査では、教員と児童の意識のズレがあると分析されているようだが、どのようなズレがあり、それに対してどのような対策・改善をされているか、教育委員会の見解をお聞きしながら、少し協議をしたいと思います。

◆教 育 長

このズレは、全国・県の学力状況調査の学校質問紙及び児童生徒質問紙の中での、授業に関するズレのことです。例えば、

- ・「授業の中で、自分の考えを持つ時間があつた」
出来ていないと回答：教師約3%、児童15%
- ・「授業の中で、グループで様々な考えを出し、深め合った」
出来ていないと回答：教師約11%、児童40%

このように、児童生徒の方が、否定的に回答している結果があると、事務局から聞いていますが、この結果からは、教職員の指導が、子どもの目線に立っていない状況が垣間見えています。子どもの視点に立った授業改善が課題であると考えています。

◆市 長

人を育てるには、多くの時間がかかるため、施策や事業にも粘り強さが必要となってきます。学校の先生方にもご苦勞をおかけしますが、子ども達が楽しく、そして質の高い授業がうけることができるよう、よろしく願いをしたいと思います。

◆市 長

ありがとうございます。

いろいろなご意見があるかと思いますが、結果は結果として、受け止めなければならないと思います。ただ、真木委員長からも「テスト結果に一喜一憂せず、長期的な視点で子ども達のことを見てあげてほしい」、また、教育長からは、「確かな学力」を身につけるとともに、「豊かな心」、「健やかな体」を育成し、生涯を通じて学び、成長しつづける、そういう「生きる力」を身に付けることが、子ども達にとって必要である」との、ご意見を伺っています。私も全く同感であります。

資料からも、徐々に、取組みの効果が表れていることが読み取れましたが、こうした教育委員会の理念、思いが、何とか形になってほしいと思っております。

それでは、次に、家庭・地域における学力の向上について、皆様方のご意見を伺いたいと思います。子ども達が「確かな学力」を身につけるためには、学校だけではなく、家庭や地域との連携が必要となってくると思います。皆様いかがでしょうか？

◆長江委員

津山市の学力の問題の背景には、子どもの基本的な生活習慣や学習意欲の問題、豊かな体験活動やコミュニケーションの不足など、様々な課題があると思います。学力が伸びていくためには、子どもの学ぶ意欲向上や人々との安心できる人間関係などが大きく関係しています。学校教育だけでなく、社会教育の取り組みがとても大切で、家庭や地域の教育力を高め、地域をあげて子どもたちを育てる体制づくりが必要だと考えています。

◆森 委員

現在、児童虐待の防止や子育ての悩みや不安を抱える親の支援など、家庭教育を支援することが重要になっています。城西地区では、子育て中の若いお母さんなどが昼間に社宅やアパートなどに大勢いらっしやるのがまちづくりの取組を進める中で分かってきたと聞いています。

そこで、親が地域との関係も希薄なまま孤独な子育てにならないよう、地域をあげて子育てを支援しようと、地域の元民生委員や愛育委員をされていた方々などを中心に「子育てサロン さくらんぼ」を立ち上げられています。

やはり、子どもの学力を考えると、安心できる家庭での居場所づくりや保護者の子どもへの関わり方など、子どもが小さい時から地域の人々が家庭を支援する体制づくりなど、地域の教育力を高める取組が重要だと考えています。

◆寺元 委員

教育に係る者として、学力の問題を単に点数だけで論じることはできないと感じています。子ども達は本来、もっと学びたい、もっと知りたいなどの気持ちを強く持っており、自分からやってみようという気持ちが学力と大きく関係していると思います。意欲や自信などが高まることで、子どもの学力を高めるエネルギーになると感じています。学校だけでなく子どもたちが地域の方々とのふれあいや交流など子ども達が豊かな体験活動を通じて自分の生きる道を探ることができるよう、地域の方々の協力を得ることも大切だと感じています。

◆市 長

ありがとうございました。現在、第5次総合計画を策定中ですが、教育は、施策の中核となってくると思われますので、私たちが連携を深め、協力しあいながら、津山市の教育を推進できればと思います。

また、何かございましたら、この総合教育会議の場で、皆さまと協議してまいりたいと思います。

引き続き、平成27、28年度の教育施策の推進にご尽力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以上で、議題については終了いたします。

5. その他

◆市 長

それでは「5. その他」ですが、何かご意見がございますか。(特になし)

6. 閉 会

◆市 長： 本日は、各協議事項につきまして協議・調整をいただきありがとうございました。

それでは、総合教育会議の閉会にあたり、田村教育長から、閉会のご挨拶をお願いします。

◆田村教育長

本日は、お忙しいところご参集いただき、ありがとうございました。

市長と教育委員会がこうして一堂に介して議論できることは、大変すばらしい会であり、お互いの共通認識を深めながら、教育行政を前に進めることは、非常に有効なことだと考えています。

今後も、その会が発展していくこと願いながら、閉会のあいさつといたします。

本日は、大変ありがとうございました。

◆市 長：それでは、これをもって、第2回津山市総合教育会議を閉会といたします。ありがとうございました。(終了)